

三田祥雲館高校の探究活動 目標と評価 (生徒用)

目標 三田祥雲館 SS 探究で「自ら学ぶ力」を身につける

<p>【学びの基礎力】</p> <p>①主体的に学ぶ力 課題の解決に向けて、指示を待つことなく主体的に行動することができる。</p> <p>②他者と協力する力 対話を通して議論を深めることができる(コミュニケーション能力)。また、自分の役割を果たしながらも他者の手助けをし、チーム全体の視点に立って働きかけることができる(リーダーシップ、フォロワーシップ)。</p> <p>③計画を立て実行する力 目標達成のための計画を定め、それに沿って活動することができる。</p>	<p>【学びを深める力】</p> <p>④情報を収集し分析する力 多様な情報源を精査し、必要な情報を収集することができる。さらに、それらの情報を分類し、意味付けすることができる。</p> <p>⑤論理的に考える力 分析した情報の因果関係を整理し順序立てて考え、原因と結果の関係性などを見出すことができる。</p> <p>⑥課題を発見する力 得られた情報をもとに新たな課題を設定できる。また、未来を見据え、柔軟で多様な考え方ができる。</p>	<p>【学びを活かす力】</p> <p>⑦文章を書く力 自分の考えを他者に伝えるための文章を論理的に正しく書くことができる。</p> <p>⑧プレゼンテーション力 図版などを利用し、口頭で自分の考えを論理的、かつわかりやすく他者に伝えることができる。</p> <p>⑨社会に関わる力 社会の問題を自分の問題として捉えることができ、社会や自然との関わりの中に自己を位置づけ、社会の形成に参画することができる。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価

	学びの基礎力			学びを深める力			学びを活かす力		
	①主体的に学ぶ力	②他者と協力する力	③計画を立て実行する力	④情報を収集し分析する力	⑤論理的に考える力	⑥課題を発見する力	⑦文章を書く力	⑧プレゼンテーション力	⑨社会に関わる力
A 発展	学内の活動だけに留まらず、学会や学習発表会などに参加し、自身の探究活動に活かすことができる。	他者と協力するだけでなく、積極的に学外等の他者を巻き込み、自身の探究活動を深めることができる。	段階的で緻密な計画にのっとり、それを発展的に修正しながら充実した活動ができています。	調査・実験により独自に得た情報と、既存の情報との関係性を整理することができる。	探究活動によって得られた結論や考え方を、社会や学術に結びつけて考えることができる。	探究活動を通して、柔軟で多様な視点から未来を見据え、社会的、学術的課題を見出すことができる。	様々な文書の形式と目的に合わせて、適切な文体を選びながら自分の考えを表現することができる。	場面に応じた様々な発表手法を用いて、説得力のある発表ができる。	自分の探究活動を通して、地域社会や学問の発展に貢献できる。
B 目標	課題を自ら設定し、それを解決するための行動ができる。	教員や外部講師とのコミュニケーションを通じて、探究活動を深めることができる。	実行可能で具体的な計画を立て、それを修正しながら活動ができています。	自分の研究テーマに即して、調査や実験により独自の情報を収集し、関係性を見出すことができます。	複数の根拠をもとに、その考察・結論を論理の飛躍なく述べることができます。	探究活動によって導いた結論から、新たな問いを設定できる。	論文の構成に合わせて自分の研究を論理的に伝える文章を書くことができる。	話し方や発表姿勢に加え、質問を投げかけて双方向のやり取りのある発表ができる。	探究活動を通して身につけた力を、自身のキャリア形成に関連づけることができます。
C	与えられた課題を解決するために、自ら行動できる。	クラスメイトとのグループワークの中で対話・議論し、探究活動を深めることができる。	実行可能な計画を立て、活動ができています。	自分の研究テーマに即して、論文、文献などから情報を収集し、関係性を見出すことができます。	根拠をもとに、その考察・結論を論理の飛躍なく述べることができます。	自分の研究テーマに即して問いを設定し、その仮説、手法を考えることができる。	伝達すべき情報の要点を押さえた明瞭簡潔な文章を作成できる。	わかりやすい話し方かつ効果的な発表姿勢で論理的に伝えることができる。	社会や自然の問題を自分事と捉え、自分の探究活動を社会や自然との関わりの中に位置づけることができます。
D	与えられた課題を解決するために、必要な情報を自ら収集することができる。	クラスメイトとのグループワークの中で、対話しながら作業ができる。	多少曖昧な点はあるが計画を立てられている。	与えられたテーマに即して、新聞やインターネットサイトなどから情報を収集できる。	与えられた課題に対し、根拠に基づく仮説を設定できる。	与えられた課題に対し、その背景や関連する課題を想像できる。	小論文の構成に合わせて自分の考えを論述することができる。	自分の考えを明瞭な話し方で分かりやすく伝えることができる。	社会や自然の問題に関心を持ち、様々な情報を集めることができる。
E	与えられた課題に対して、教師や友人から指示をされて行動することが多い。	クラスメイトとのグループワークにおいて、積極的に対話することができない。	現実的な計画が立てられない。または計画から大幅に遅れて行動している。	与えられたテーマに即して情報を収集することが十分にできない。または、収集したことがない。	与えられた課題に対し、根拠に基づく仮説を設定できない。または、したことがない。	与えられた課題に対し、その背景や関連する課題を想像できない。	自分の考えを論理的に文章で表すことが十分にできない。	自分の考えを口頭でわかりやすく伝えることが十分にできない。	社会や自然に対してあまり関心がない。または、新聞やニュースなどをあまり見ない。